

各位

令和3年10月1日

社会保険労務士法人 グッド労務
代表社員 加藤 高義

当社における DX 戦略について

1. はじめに

当社は「人事労務管理という仕事を通じて地域社会の笑顔に貢献する」をモットーに、平成10年の開業以来お客様にサービスをご提供してまいりました。社会保険労務士は今年で53周年の資格であり、働き方改革の関心が高まっている状況も合わせ、お客様からの期待だけでなく、ニーズも多様化が進んでおります。ご満足いただけるサービスをご提供するため、私どもも、日々研鑽をお約束し、提供できる価値の向上を進めてまいります。

また、テレワーク導入アドバイザーとしても活動しています。テレワークシステムを実際に当社会保険労務士事務所で導入、当初は職員の子供の病気や本人のちょっとした体調不良でも休まずに働けるシステムとして活用していたが新型コロナウイルスの蔓延をきっかけとして基本的な働き方をテレワークに移行。これら一連の経験と関連ネットワークを活かしてテレワークを中小零細企業に導入するお手伝いを開始。23年にわたる社会保険労務士としての業務知識をもとにテレワークの進め方をご提案する仕事をスタートし、現在ではオンラインでのセミナーなども企画・運営。企業でも自前で運用できるようになるまでお手伝いする事業も展開している。テレワーク導入には政府の助成金を活用して新しい時代を生き抜くアイデアをともに考えていきます。また、クラウドによる労務管理のシステムの選び方、システムの導入から運用の仕方など zoom を用いてアドバイスします。

2. DX 戦略概要

① 全社員完全テレワークの実現

当社は、クラウドサービスをフル活用して全社員の完全テレワークを実現し「デジタル社労士」を目指します。

☞業務プロセスは、クラウド労務管理を活用して、顧客企業の勤怠管理・給与計算・

社会保険手続・労務管理・人材募集採用についてテレワークで処理します。

☞顧客企業の内、自社で操作できる会社は自社入力を行いデータは共有、サポートが必要な企業はグッドロームのスタッフがリモートで支援、全く操作できない企業はグッドロームのスタッフが全て代行操作を行います。いずれにしても全て同一のクラウドサービスを共有することができます。

② 情報共有システムの構築

顧客企業の勤怠管理・給与計算・社会保険手続・労務管理・人材募集採用などのデータは Workspace で情報共有します。また、企業の日報データも同じ Workspace でデータ共有します。また、こうした活動を通して中小企業・小規模企業の IT 経営の実践と IT 利活用を促進します。

③ 人事評価・人材育成支援クラウドサービスを開発

人事労務管理の目的は、「勤怠情報⇒業務遂行による成果や目標管理⇒人事評価⇒待遇改善⇒人材教育」のサイクルを回すことでスパイラル的に業務遂行スキルを高めて生産性を向上し企業の成長を目指すものです。中小企業・小規模企業では、こうした仕組みがないために、生産性向上ができていません。

当社は、デジタル社労士として DX 戦略を実行することで社会保険労務士の本来の使命を果たすことを目指します。

3. DX 推進体制

社会保険労務士法人グッドローム代表社労士を統括責任者、DX 推進プロジェクトリーダーを実務責任者とし、DX 顧問に IT コーディネータの水口和美氏を迎え実行体制を整え、システム開発、商品開発、サービス開発を行います。

4. システム環境整備体制

一つ一つのシステム構築やサービス開発案件はすべて費用対効果を基に判断し、毎年売上高の約 3% をめどに予算化された費用から投資を行っていきます。

5. 達成度を測る指標

企業収益の向上をもって DX 戦略の全社的な達成度の指標とします。当社 Web サイト (<https://www.goodromu21.jp/>) にて年商を年次更新しています。

また、企業収益の向上の目標値を基準にした中期経営計画を 2021 年度に立案し。各部門の業務革新の計画が定されているため、役員会・幹部の定期会議のなかで進捗を管理します。この中期経営計画は非公開ですが、社内システム構築に関しては 3 年以内の実現と売上高 5000 万円を目標設定しています。